

オルフェウス室内管弦楽団には
ベートーヴェンが染み込んでいる。
ただうまいだけじゃない。
無上の喜びを与えてくれるのだ。

— ニューヨーク・タイムズ(2015年1月 コンサート評)



彼らのベートーヴェンは、終始、
聴く者の想像力を捉えて離さない。
ここ数年のベスト演奏!

— Infodad (ベートーヴェン:交響曲第5,7番 CD評)

弦楽四重奏のような
緊密なアンサンブルと
オーケストラの迫力の両立!

— 山田治生(音楽評論家)



辻井伸行(ピアノ)
Nobuyuki Tsujii, piano

2009年6月に米国テキサス州フォートワースで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。11年11月にはカーネギーホールの特約でリサイタル、12年にはアッシュケナージの指揮でロンドン・デビュー、ゲルギエフの指揮でセントペテルブルクにデビュー。13年にはイギリス最大の音楽祭「BBCプロムス」に出演し「歴史的成功」と称賛された。14年3月にはゲルギエフの指揮でミラノ・スカラ・フィルとの初共演、4月にはパリ・デビュー・リサイタルが大反響を呼んだ。15年5月には佐渡裕指揮、トーン・キエンストラ管弦楽団との共演でウィーン・デビュー。11月にはゲルギエフ指揮ミュンヘン・フィルとのドイツ及び日本での共演で大成功を収める。

07年よりエイベックス・クラシックスより継続的にCDを発表し、2度の日本ゴールドディスク大賞を受賞。作曲家としても注目され、映画《神様のカルテ》で第21回日本映画批評家大賞を受賞。

09年、文化庁長官表彰(国際芸術部門)。10年、第11回ホテルオークラ音楽賞及び第1回岩谷時子賞受賞。13年、第39回日本ショパン協会賞受賞。



オルフェウス室内管弦楽団 Orpheus Chamber Orchestra

オルフェウス室内管弦楽団は“オーケストラの響きの豊かさ”と“室内楽の持つ親密さと温かみ”の融合を目的として1972年に設立された。指揮者なしの独創的な演奏スタイルは、ソリストとしても活躍しているメンバーたちの音楽的志向が見事に集約し、高いエネルギーに満ち溢れた極めて豊かな音楽を生み出す。その“革新性”と“高い芸術性”から他の追随を許さない世界トップレベルのオーケストラとして高い人気を博しており、これまでに、50ヶ国の300を超える都市で公演をし、43曲の新作委嘱、グラミー受賞作を含む70枚以上のアルバム録音を行っている。

定期演奏会の本拠地はニューヨークのカーネギーホールで、88年の初来日以来、定期的に日本でのツアーも行っている。ピアニストの辻井伸行とは、2014年に定期演奏会で共演したほかUSツアーと日本ツアーも行い、15年にはベートーヴェンとモーツァルトのピアノ協奏曲集のCDもリリースしている。

Photo: Yuji Hori, Rose Callahan, Chris Lee, Matt Dine

辻井伸行 & オルフェウス室内管弦楽団 《皇帝》&《戴冠式》



ベートーヴェン:
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73《皇帝》
モーツァルト:
ピアノ協奏曲 第26番 二長調 K.537《戴冠式》

辻井伸行(ピアノ)
オルフェウス室内管弦楽団

[録音]2014年
AVCL-25867 定価:¥3,000(本体価格)+税

オルフェウス室内管弦楽団 ベートーヴェン:交響曲第5番&第7番



ベートーヴェン:
交響曲 第5番 八短調 作品67《運命》
交響曲 第7番 イ長調 作品92

オルフェウス室内管弦楽団

[ライブ録音]
カーネギーホール、ニューヨーク
第5番:2012年10月/第7番:2010年12月
AVCL-25811 定価:¥3,000(本体価格)+税